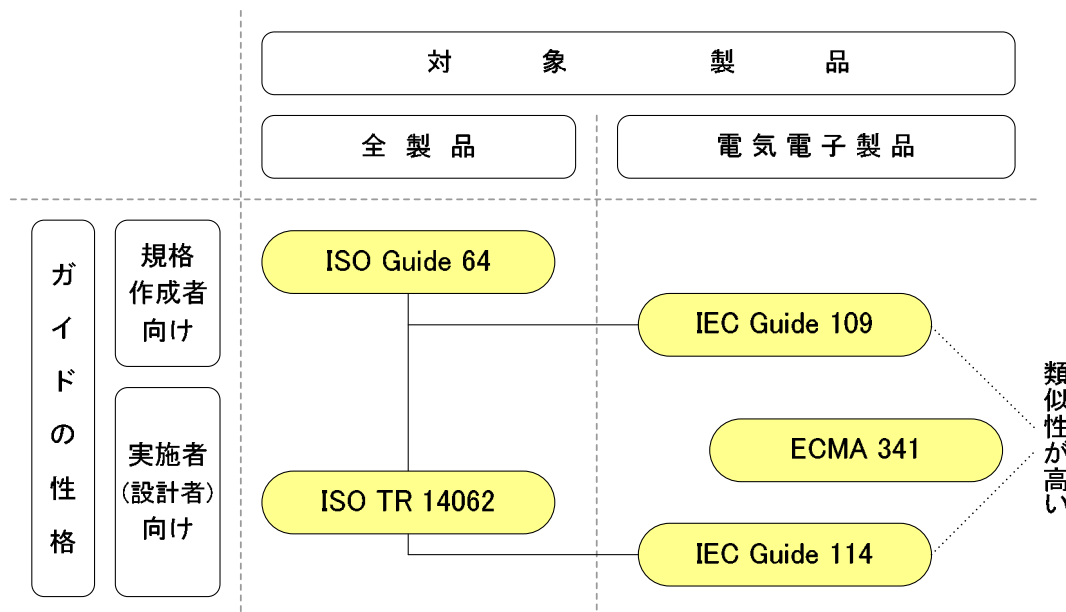


## 環境配慮に関する国際規格について



規格/タイトル	目的	特色/主張	チェックリスト	設計時の配慮
<b>ISO Guide 64</b> Environmental aspects-Inclusion of environmental aspects in product standards (1997年発行)	製品規格を作る人に向けての参考資料	・性能/経済性/市場性の考慮 ・必ずしも全製品が全ライフステージで様な環境影響があるわけではない	なし	・性能、経済性、市場性も考慮すべき ・技術の進歩の妨げになるため、材料を指定すべきではない ・環境パフォーマンスや機能を要求すべき
<b>IEC Guide 109</b> Environmental aspects-Inclusion in electrotechnical product standards (2003年改訂)	製品規格を作る人に向けての参考資料で ISO Guide 64 の焼き直し	・ISO Guide 64 と同様 ・企業の製品 Stewardship の既存の役割も配慮すべき	・省材料 ・エネルギー/資源効率 ・排出/廃棄の削減 ・使用材料の最小化 ・材料の種類削減 ・有害物質削減/代替 ・部品の再利用 ・アップグレード ・保守性、分解性、リサイクル性設計 ・リサイクル性を阻害する表面処理 ・マーキング ・使用者への情報提供	・性能、経済性、市場性も考慮すべき ・技術の進歩の妨げになるため、材料を指定すべきではない ・環境パフォーマンスや機能を要求すべき
<b>ECMA 341</b> Environmental design consideration for electronic product (2002年発行) ECMA: 欧州計算機工業会	環境配慮設計の項目を特定し、限定する	・設計時の配慮事項のみ ・分析結果から改善項目というプロセスではなく、いきなり詳細な改善項目が列挙されている	環境配慮項目の各々を詳細にチェックリストに展開している。	環境配慮項目の各々を詳細にチェックリストに展開している。
<b>ISO TR 14062</b> Environmental management-Integrated environmental aspects into product design and development (2002年発行)	製品の開発に関わる全ての関係者へのガイド	・マネジメントプロセスへの言及 ・経営層をはじめ様々な関係者を想定	特になし	・ISO64 を継承 ・機能性 ・多面的基準 ・トレードオフ
<b>IEC Guide 114</b> Environmentally Conscious Design-Integrating environmental aspects into product design and development of electrotechnical products (2005年発行予定)	電気電子製品の設計者の設計時の環境配慮を支援するためのガイド。14062の電気電子版	・初期段階での検討が強調 ・経済的、機能、価格なども考慮すべき ・異なったライフステージ間のトレードオフを強調、LCT (Life Cycle Thinking) の重要性をアピール ・製品からサービス提供への移行も述べられている ・様々な幅広い選択肢があることが強調されている	・基本事項 ・資源効率(情報提供/エネルギー効率/材料効率) ・環境排出留意材料(有害物質使用・サプライヤーの関与/有害物質の MD (Material Declaration)/有害物質管理システム・サプライヤーの関与) ・エンドオブライフ(リユース/リカバリー)	・ISO64 を継承 ・機能性 ・多面的基準 ・トレードオフ

図 環境配慮に関する国際規格の比較